

のうせい 佐用

農業委員会だより

第 44 号

平成 29 年 5 月 6 日発行

佐用町農業委員会

TEL.82-0667 (農林振興課)

FAX.82-0017

# ちくさ刊



今年は天候の影響もあり、町内各地では桃や桜などの花の開花が遅れていました。

福澤集落では「菜の花・桜祭り」が行われました。会場では、つきたてのお餅や豚汁などが販売されました。色とりどりの花を見ながら多くの方が舌つづみを打ち、春の息吹を感じました。

## 主な記事から

- ☆ 東徳久地区農事組合法人へインタビュー  
・・・ 2～3
- ☆ 農業委員会からのお知らせ  
・・・ 4
- ☆ 編集後記  
・・・ 4



ぶどうの苗木をひとつずつぶどう棚へと導きます



インタビューの様子。農業の楽しさを語ってくれました



ぶどうの苗木を囲み、意気込みを見せるメンバー（左から榊ゆめさん、下村和也さん、廣瀬司さん、西山毅哉さん）

### ◎生産者にインタビュー

## 東徳久地区農事組合法人

今月号は、『東徳久地区農事組合法人』で働く4人の若者を紹介します。

ぶどう畑で手際よくぶどう棚を組み立てていく19歳から22歳の若い農業者。髪を染めたり、耳にピアスをしたりと、年頃のおしゃれや遊びを楽しみ、時には朝まで友達と遊んだり……。そんな彼らが、屈託のない笑顔で話してくれました。

### 農業を始めたきっかけ

榊ゆめさんは、姫路市出身の22歳の女性。高校と兵庫県立農業大で農業を学び、現在の仕事に就いて3年目になります。広瀬司さんと、西山毅哉さんは、たつの市出身の21歳。共に佐用高校農業科学科を卒業した同級生です。一度は一般会社に勤務していた広瀬さんは、毎日同じことを繰り返す単調な仕事にやりがいを感じられなかったと言います。そんな廣瀬さんを西山さんが誘い、たつの市から通勤しています。昨年卒業したばかりの下村和也さんは、姫路市から通う19歳。彼もまた佐用高校農業科学科を卒業して、今の仕事に就きました。

せっかく学校で農業を学んでも卒業後、農業に就く人の数は少ないなか、「農業に興味を持っていた。」先生にも農業を薦められた。「野菜づくりと果樹ができる」と聞いて東徳久地区農事組合法人に決めた。」と話します。

### 実際に仕事をしてみると

「勉強と仕事とは違って、とにかくきつい。そして長い仕事。」と言います。私たち農業委員も農業を始めた頃を思い出し、思わず納得顔になりました。

この仕事をしていてよかったです。と思うことは、「田植えや稲刈りなどの仕事をやり遂げた充実感。」「果樹園で桃やぶどうをいっぱい食べられること。」「野菜を持って帰ったら、お母さんがおいしいと喜んでくれた。」と楽しそうに話してくれました。

今は農作業が機械化され、大型農業機械も導入されたとはいえども、人力による作業が無くなった訳ではありません。

### 将来の夢は……

「興味の本気度を確かめたい。」と副組合長の腰前正好氏が彼らに与えた試験がありました。それは夏に1週間連続の草刈作業。途中で音をあげて「仕事を辞めたい。」と言い出すのではと思いつつ守っていました。最後までやり遂げました。榊さんは最後の仕事を完了した後で熱中症になりました。「ようやくがんばったな。」と褒められて、涙を流しました。「今では、なくてはならない戦力や。やっぱり力仕事は、若い子にはかなわん。機械操作も早いし、この子らがおらな、この仕事はなりたたわ。」と腰前さんは目を細めます。

機械が好きで、既に大型農業機械の運転免許を取得し、整備にも興味があるという先輩格の西山さん。追いかける広瀬さんや下村さん。榊さんはぶどう畑の責任者になって若木を育てています。そんな彼らに将来独立するのか、従業員として働き続けるのかを聞いて

### 東徳久地区農事組合法人

平成8年7月に東徳久地区営農組合として設立。平成14年4月に法人化を。同年7月に認定農業者となる。現在は水稲をはじめ、白菜やキャベツなどの野菜、桃やぶどうなどの果樹、ひまわり、薬草などを農地約70㌔で栽培する。

てみました。「まだまだ考え中。」、「……まだ考えていない(勉強中)。」との答えが返ってきました。今年、網棚や屋根を取り付けたぶどうの若木は、3〜4年後実を付け始め、10年で一人前になります。その頃には、彼らも独立や後継者としての姿を見せてくれることでしょう。「独立するならば一杯応援したい。もちろん法人の後継者として頑張ってくれるならもっと嬉しい。」と腰前さんはエールを送ります。ぶどう畑に若者たちの元気と応援する人達の姿がありました。

# 農業委員会からの お知らせ

☎TEL 82-0667  
infomation

## 農業者年金『現況届』 の提出を忘れずに

現況届は、年金受給権者のかたが年金を受給する資格があるかどうかを確かめる、毎年1回必要な手続きです。

農業者年金の経営移譲年金や農業者老齢年金を受給しているかたは、現況届を必ず農業委員会へ提出してください。

### 現況届が届く時期

現況届の届出用紙は、5月末頃に受給者ご本人あてに農業者年金基金から送付されます。

### 現況届の提出時期

現況届は6月中に農業委員会へ必ず提出してください。

### ① 経営移譲年金を受給しているか た

受給者ご本人が、農地を取得す

るなどして農業を再開していないことを確かめてください。また、初めて現況届を提出するかたは、農業所得の申告などの諸名義が経営移譲（経営継承）の相手方に変更していることを確かめてください。現況届は、署名と記入の上、6月中に農業委員会に提出して内容の確認を受けてください。

※支給停止事由は、現況届の裏面をご確認ください。

### ② 農業者老齢年金を受給している かた

現況届に必要な事項を記入をして、6月中に農業委員会に提出してください。

※現況届を受給者本人が記入することが困難な場合は、家族などが代理人となって記入してください。その場合、代理人の住所・氏名・電話番号も併せて記入してください。

### 現況届の提出を忘れると

現況届の提出がないときは、11月の支払いから現況届が提出されるまで、年金の支払いが差し止められますのでご注意ください。

### 問 佐用町農業委員会

☎ 82・0667

農業者年金基金

☎ 03・3502・3119

## 平成28年度 農業委員会の 申請件数

平成28年度に農業委員会に申請のあった案件は次のとおりです。

農地法第3条申請 (農地取得)	38件
農地法第4条申請 (自作農地の転用)	4件
農地法第5条申請 (農地を取得して転用)	49件
農地法施行規則第29条 の届出(農業用倉庫など)	1件



◆農業委員会総会は  
原則として、毎月20日です

農地に関する許可申請の締め切りは、毎月末です。

6月委員会分	5月31日(水)
7月委員会分	6月30日(金)
8月委員会分	7月31日(月)

## 編集後記

農繁期に入り気忙しい季節となってきました。

近年、農業者の高齢化、後継者不足の問題が取り上げられておりますが、今回取材した東徳久地区農事組合法人は平均年齢が20歳と、若者たちが中心となって支えています。県外の農業者との交流を行ったり、ひまわり祭りではスイートコーンを販売したりと、楽しみながら農業をされています。

これからの農業を担う若い農業者の育成のために、研修や支援の推進を進め、佐用町の農業の活性化を願っています。

編集委員 腰前正好

## 編集委員会

委員長 小原孝文  
副委員長 腰前正好  
委員 福田範康  
委員 高見重嘉  
委員 保田實  
委員 秋田洋三  
委員 森林茂